

かみふらの 議会だより

NOW

ナウ

99.4.25

No.22

たくさんともだち
できるかな？



（中央保育所入所式の様子から）

主な記事

●平成11年度各会計予算可決 ②～③

●“執行方針を問う” — 6議員が質問 — ④

●**教育行政**など 5議員が一般質問に登壇 ⑥～⑩

平成11年度

各会計予算を可決 一般会計予算は90億5百万円



3月定例会は3月4日から19日の会期で開催され、新年度の執行方針と予算や条例などを審議しました。



②日の出公園オートキャンプ場



①西小学校完成予想図

主な予算

- ① 西小学校改築工事 179,476千円
- ② 日の出公園新設工事 143,000千円
- ③ 東町公営住宅新築工事 471,079千円
- ④ 江花地区簡易水道事業 374,324千円
- ⑤ 療養型病床群導入に伴う経費 54,818千円

予算特別委員会で集中審議
平成11年度各会計予算案は3月5日に上程され、議長を除く19名の議員で構成



④江花簡易水道事業



③東団地公営住宅



⑤療養型病床群導入

する予算特別委員会を設置して、4日間集中審議しました。
新年度予算はごみ焼却施設建設完了などにより、前年度より2・3%減の一般会計、特別会計、企業会計あわせて総額約137億5千万円となりました。
このうち一般会計は90億5百万円で、主な予算は西

■平成11年度各会計予算のあらまし (千円:%)

会計別	予算額	前年比
一般会計	90億 500万0	▲ 6.5
国民健康保険特別会計	8億6646万4	▲ 17.0
老人保健特別会計	11億9035万9	▲ 2.4
公共下水道事業特別会計	7億5933万0	26.7
簡易水道事業特別会計	4億7541万8	689.5
病院事業会計	12億 249万2	6.4
水道事業会計	2億5970万1	▲ 35.3
合計	137億5876万4	▲ 2.3

小学校改築工事、日の出オートキャンプ場新設工事、東町公営住宅新築工事などが計上されています。
また、簡易水道事業特別会計では江花地区簡易水道の布設工事、病院事業会計では療養型病床群の導入に伴う経費などが計上されています。
予算特別委員会は3月12・15・16・17日の4日間開催され、町の財政状況や各事業の内容など7会計予算について質疑を行い、一般会計、国民健康保険特別会計については賛成、反対の立場でそれぞれ討論を行うなど、審査意見を付けていずれも原案通り可決しました。

賛成

反対

討論

概ね町民ニーズに
応える予算である。

財政全般に対する
見直しが必要。

各事業の選択について優先順位の疑問は残るが、第4次総合計画のスタートに向け、保健、福祉を中心にソフト部門の充実など、制度基盤の整備を進めようとしていることが伺える。

また先行きの見えないといわれる農業振興については、国、道の振興策と歩調を合わせたもののほか、わずかではあるが独自の振興

策についての取組みをはじめ、厳しさの増す農業を守るうとする姿勢も感じる。

生活基盤整備や産業振興対策など多くは継続事業にとどまり、現状を打破しようとする気迫に欠ける点は事実である。

しかし、財源確保の難しさや経常経費の増高などを考えると本予算案は町民全員の方に満足していただける予算とはいえないが、概ね町民のニーズに応える予算案と考え、効率的な執行により、住民福祉に寄与するものと確信して賛成する。



財政危機を口実とした公共料金の引き上げや、職員数の削減など住民サービスを切り捨てる政策を行ってきた。

この原因は住民でも職員でもなくきちんとした優先順位を決めないで、福祉や暮らしなど住民生活に密着した政策をとってこなかったのが原因と考える。

この予算案をみても公共事業の見直し、生活密着型共料金の引き上げや、職員数の削減など住民サービスを組んでいない。

中でも日の出公園オーパークキャンプ場については、今年度関連事業などを含めて多額な予算が組まれており、これについては多くの町民から批判があり、住民生活に必要不可欠な事業が山積みされており、見直しが必要である。

また、この財政危機に対する財政全般にわたる見直しが全くされていない。よって、本予算案に反対する。

療養型病床群導入に伴い 堅実な病院運営を!!

7項目の審査意見を付し可決

<p>施策決定 優先順位、緊急度の精度を高めよ</p> <p>施策の決定に関し優先順位、緊急度の精度を高め関連事業の有機的な連携により、効率的な財政運営を進められたい。</p>	<p>財政 経常経費の節減に努力せよ</p> <p>税及び使用料などの収納向上はもとより、固定化された補助金の精査など経常経費の節減を。</p> 	<p>意見審査</p>	<p>保健福祉 医療・福祉・保健の連携を強化</p> <p>町立病院を核とし、医療・福祉・保健の連携を強化し、一体的な取組みに努力せよ。</p> 
<p>青少年育成 人材育成に配慮</p> <p>青少年の健全育成については、次代を担う人材の育成に配慮し、一層の推進を図られたい。</p> 	<p>農業振興 土づくり施策の展開を!</p> <p>下水道汚泥などを含む町内の資源を活用し良質な堆肥の生産供給と利用体制の整備を図られたい。また緑肥等による土づくり施策の展開を。</p>		<p>工事発注 地元事業者の受注機会拡充を</p> <p>公共事業の発注は分離分割発注等により、地元事業者の受注機会の拡充を図られたい。</p> 

執行方針を問う

3月5日に町長と教育長から新年度の執行方針が述べられ、これに対して6議員が質疑を行いました。



執行方針を述べる尾岸町長

広域行政と市町村合併の考え方は

問 今後、広域行政については介護保険、ゴミ処理、観光などが考えられるが、取組みについて伺いたい。
また、市町村合併についての考え方は。

町長 広域行政については現在も市内、消防等実施しているが、今度においても有益性のあるものについては対応を図っていきたい。
また、市町村合併については種々難しい問題もあり、将来的な問題である。



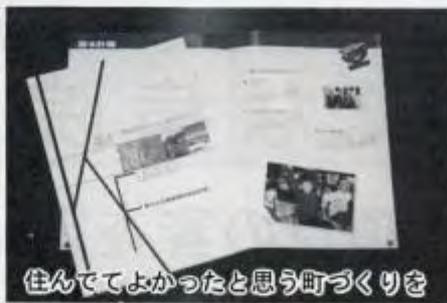
市町村合併は将来の課題

若い世代の雇用の場の確保は

問 本町は高校を抱える町

として、若い世代の雇用の場の確保についてどのような考えを持っているか。

町長 第4次総合計画に基づき本町に定住していただけるような町づくりを進めていきたい。



住んでてよかったと思う町づくりを

21世紀に向けた特色ある町づくりは

問 平成10年度の執行方針と比較してもかわりばえなく総花的で美辞麗句を並べただけになっている。21世紀に向けた特色ある町づくりが必要でないか。

町長 第4次総合計画の4つの柱を基本にしてそれぞれ分野において重要性を鑑み新年度予算の対応をした。21世紀に向け、町民が住んでてよかったと思う町づくりに努力していきたい。

起業家育成の考え方は

問 町において起業家を育成し町の発展につなげることに必要と考えるが。

町長 起業家の育成は活力ある町づくりとして、第4次総合計画でも位置付けている。
現行の企業振興措置条例の見直しをして早期に対応を図りたい。

青少年教育について

問 青少年犯罪の低年齢化が進んでいるが、本町において青少年教育の方針は。

また、先般行われた成人式について問題があったが、今後の成人式の在り方は。
教育長 青少年問題については家庭、学校、社会が一体となって進めていかなければならないと認識しており、「青少年健全育成をすすめる会」を中心として努力していきたい。

また、成人式については今後関係者と協議して適切な成人式となるように努力していきたい。

農業、商工業の対策は

問 農業について、土づくりや農地の流動化対策の考え方は。また商工業の活性化の問題はどう考えてるか。

町長 農業については農業振興計画に基づき、各関係機関の協力を受け、経営基盤の強化を図っていきたい。
商工業については現在、都市計画マスタープランを策定中であり、地域等の意見を聞いて本町の財政に見合った街並みづくりを検討していきたい。

今後においては、農、商工業ともソフト事業重視の施策を進めていきたい。



ソフト重視の施策へ

委員会条例を一部改正

委員会名	定数	所管
総務 常任委員会	7人	総務課、企画調整課、税務課、選挙管理委員会、固定資産審査委員会、及び監査委員会に関する事項並びに他の委員会の所管に属しない事項
教育民生 常任委員会	6人	町民生活課、保健福祉課、町立病院、特別養護老人ホーム及び教育委員会に関する事項
産業建設 常任委員会	7人	農業振興課、道路河川課、商工観光まちづくり課及び農業委員会に関する事項

■常任委員会の名称、委員定数及びその所管

*太字は今回改正分

「上富良野町議会委員会条例」の一部を改正しました。

これは上富良野町課設置条例の改正により課の統廃合等行われたことによるものです。

常任委員会は、議会の予備的審査機関として議案等を審査する権限を持っています。

なお改正後の役場組織図については、広報かみふらの3月号に掲載されています。



常任委員会の審議の様子から

人権擁護委員 佐藤操氏の 再任を同意

人権擁護委員に佐藤操氏を再任することに同意しました。

本町の人権擁護委員3名のうち、同氏の任期が平成11年7月31日で満了となるため、町長から再任の同意を求められたものです。

町長は住民の中から広く社会の実情に通じ、人権擁護に理解のあるものを、議会の意見を聞いて法務大臣に推薦することになっていきます。



再任された佐藤操氏

■略歴

佐藤操氏(さとう・みさお) 昭和25年陸上自衛隊に入隊、昭和56年退職後、上富良野町交通安全推進員、社会福祉協議会事務局長を歴任し昭和59年より人権擁護委員を務めている。

昭和5年3月20日生まれ、新町1丁目在住。

“保健福祉施設 整備基金条例可決”

「上富良野町保健福祉施設整備基金条例」を原案通り可決しました。

これは第4次総合計画の中に位置付けられている施設であり、複合的機能を持つ保健、福祉の拠点としての「保健福祉施設」建設にむけての目的基金を設置することにより、財源の一部に充てると共に計画を明確化したものです。

質疑から

建設年次、総事業費は。

問 施設の建設年次の目処は。また、総事業費はどの程度か。積立額は最高いくら位積み立てるのか。

企画課長 平成11年度において規模、事業費等の計画を精査、調整を図り、なるべく早い時期に実施したい。

総務課長 積立額については事業規模等が明確になった時点で決めていきたい。



問仕切りは仮設で…(住民検診の様子から)

Q、成人者に「君が代」の歌詞カードを

A、一つの案として検討したい。



1月15日の成人式

成人者に「君が代」の歌詞カードを贈っては

問 今年の町成人式は悪い方で新聞報道に取り上げられる情けない状況、まるでテレビの中の乱暴狼藉を見ているが如き有様、この件については町民の皆さんも大変関心を持っているところ反省と改善について伺いたい。また国歌「君が代」を歌う環境ができていない、ある新聞投稿記事を見るとスペインのホームステイ先で日本の国歌を要望され「君が代」を歌うことができず恥ずかしい思いをしたという女子大生がいた。また、町内の学校の卒業式では式典開始と共に教職員の「君が代」無視。これは暴力ではないが成人式の無頼状況と何等変わらない。教育者としてそれで良いのかと言いたい。話は変わるが1月決算委員会の上富良野町労働者団体への町補助決算報告書を見ると相変わらず教職員がその構成員となつて

いるが、教育者は信念をもつて教育に徹せよと言いたい。そこで無理なく国歌「君が代」を歌い覚える社会教育の一手段として君が代の歌詞カードを成人者に贈ってはいかがが。

教育長 この度の不祥事については主催者として大変申し訳なく心からお詫びしたい。今後については成人式の意義を十分理解し、意義ある成人式になるよう努力したい。また君が代の歌詞カードについては国を愛するということと理解を頂きながら一つの案として今後検討したい。

長期的な踏切対策は

問 今年の町への観光客数は百万人がめどかと思うが施設、道路がよくなくても踏切がネックとなり渋滞が予測される。長期的に踏切対策はどのように考えるか。
町長 現在都市計画マスタープランを策定中であり今年度完成する。これにより町道の整備に合わせて、道路

管理者である土木現業所に整備促進について要望する。



梨澤議員



長期的な踏切対策が必要

招魂祭の場所の変更は必要か

問 町は招魂祭の本旨をどのように受けとめているか。また式典の名称、場所の変更はあるのか。私は先人が定めた大切な歴史のページは守っていくべきと考えている。さらに駐屯地から貴重な寄付を受けていながら招魂祭検討委員会への参加は呼びかけているのか。

町長 招魂祭は過去の戦争における戦没者に対し霊を慰め哀悼の意を捧げることにより平和の誓いを新たにすることに。場所と名

称については現在検討中である。検討委員会に駐屯地代表は入っている。

差別的規則改正は認められない

問 平成10年度駐屯地OB2名の方が叙勲に浴くしているが報奨金が出ていない。監査委員はこれを質しているか。

監査委員 この規則改正については執行権との関係もあり関与する権限はない。
再質問 町民から等しく税金をとるのであれば等しく処遇すべきではないか。何故このような差別的規則改正をするのか。

町長 従来は町民すべてを対象としていたが平成10年から町から具申した以外は報奨金対象から除外した。
再々質問 町民として等しく納税をしているのであれば等しくお祝いして当然ではないか。

町長 町で手続きした以外は、それぞれの機関で対応してほしい。

Q、外部監査制度の導入を！

A、他市町村の動向を見据え検討する。



監査の執行状況は？

外部監査人導入の条例を制定するのか

問 外部監査制度導入について、地方分権の推進に対応した地方公共団体の体制の整備及び適正な予算執行の確保を図る観点から、自治法の改正があった。また、

監査事務局を設置することができ、町長としては法改正に伴い外部監査制度の導入についてどのような考えを持っているのか伺いたい。

町長 町ではこの改正を受けて平成10年3月の定例議会に監査委員条例の全面改正を提案し、必要な条例整備を図り監査委員事務局の設置をしたところである。

再質問 専任職員を配置すべきではないか伺いたい。

町長 監査委員制度の充実、整備、監査実施体制の整備強化を図ることは監査体制に万全を期し、町行政に対する町民の信頼を得る上からも極めて重要であると受けとめているが、行政改革

の時代でもあり行政組織の簡素化が求められている状況から専任職員の配置につきましては今後の検討の課題としたい。

再々質問 外部監査導入条例制定は考えているか伺いたい。

町長 町としても今直ちに条例を制定し外部監査を導入することは考えていないが、今後他市町村の動向などを見据えながら、さらに導入の可否につきましても検討を進めて参りたいと考えているので御理解を賜わりたい。

監査の執行状況は

問 監査委員に監査の執行状況を伺いたい。

監査委員 平成10年2月末日現在の状況は例月現金出納検査は22日、定期監査7日、基金運用状況審査1日、出資団体監査1日、決算審査24日、合わせて55日間である。平成9年度の監査所要日数は54日間である。3月実施予定分を含めると3

日間ほど監査日数が多くなっている状況である。

再質問 監査委員の職務権限について伺いたい。

監査委員 監査委員の職務権限につきましては、地方分権推進あるいは行政情報公開と言った流れの中で、監査委員の果たすべき役割は誠に大きなものがあると認識している。議会をはじめ町民の方々の期待に十分添えるように監査の執行に努めて参りたいので御理解を頂きたい。

再々質問 監査委員の職務権限を拡大して頂きたい。

先般、平成9年度決算特別委員会において指摘した事項についても町民の方々が監査に疑問を持っている。今後徹底した監査の執行にあたって頂きたいと思う。監査委員の意志をお聞かせ頂きたい。

監査委員 監査委員といたしましては、与えられた職責を完全に果たすよう全力を上げて努力する。



答弁に立つ平塚代表監査委員



小野忠議員

Q、少子化と児童育成対策は

A、環境整備をし、対応していく。



明るく健やかに育つ環境づくりが課題

少子化と児童育成対策について

問 子供たちが明るく伸び伸びと健やかに育つ社会環境作りを最大の重点課題として、行政が中心となり取り組むことが、より良い未来を切り開くことであり、町長が町政執行方針で述べられた重点目標達成の基本であると私は考える。

安心して子をつくり育てられる環境・奨励策・保育施設の充実・保育料の助成・児童育成等々についての施策を具体的に伺いたい。

町長 少子化現象がもたらす問題解決は若者が定住できる環境整備が行政課題と認識しており、地場産業の育成、女性が働き続けることのできるような環境整備、定住化の促進、子供たちが健やかに育つ環境作りを目指すし、連携を図り、各種の事業を展開している。

国が保育所の許認可の融和等々の施策を検討中であり、今後十分検討を加え対

応していく。保育料は国の基準よりも軽減化した保育料を設定している。

児童育成団体の育成及び学校教育について

問 心の教育の大切さを問われている今日、児童育成関係団体の果たす役割は重要である。行政としての援助育成をどのように考えているか。

また、学校管理者と一般教職員との問題点・不登校・いじめ・非行・学級崩壊等々に対する対応についての所信を伺いたい。

教育長 家庭・学校・地域社会がより緊密な連携を図り、それぞれの役割を果たすよう、きめ細やかな施策を継続推進し、子供会やスポーツ少年団などの活動を積極的に支援し、施策の充実を図り、前向きに取り組んでいく。

また、学校内問題について、今後、校長と教職員の信頼関係をより密にし、職員間の活性が図られるよう

教職員の理解を得ながら、改善を図って参りたいと考えている。

再質問 学校教育に何故、国旗を掲揚し国歌を斉唱するのが駄目なのか、教育長は教育執行方針で「教職員はその役割と使命を深く認識すべき」としているが、

今後、どのように改善指導されるのか伺いたい。

教育長 学校の内在する問題は、管理者である校長と教職員の相互理解をした中で職員間の活性化を図って頂きたいと常に申している。課題について今後努力していきたいと思っている。

再々質問 児童育成問題について政府は「禍根は許されない。」としており、行政の中心でなければならぬとあり、真剣に取り組んで頂きたい。

全国小中学校教師研修会で学級崩壊が問題になったが、どのように捉えておられるか伺いたい。



清水議員

教育長 本町の現状では学級崩壊はない。全国的な統計の中で、いつそういう様な事態が発生するとも限らない。学校現場と連絡を密にしながら対応を図っていきたく思っている。

交通安全対策について

問 国道27号線西11線の連続するSカーブ地点は8名の尊い人命が失われた欠陥路線であり改良が必要である。

また、バイパスJ R跨線橋周辺の安全対策等々について、昨年6月と9月の定例議会で質問したが、その後の経過と今後の対応についての所信を伺いたい。

町長 開発局等に対し、整備について要望を行っており、Sカーブの改良については、引き続きその実現に向けて要望していく。

Q、町独自の30人学級の実現を！

A、国、道へ早期実現を働きかけたい。



西小学校の授業風景から

30人学級の実現を

問 子供たちの学習意欲や自立を促す環境作りのためにも30人学級が必要では。教育長 共鳴する部分もあるが、町独自では時間が必

問 ホームヘルパーの育成講座を開催するなどをして、介護体制の強化をしては。町長 在宅福祉制度の中で、ホームヘルパーの果たす役割は非常に大きなものがあり、町独自のホームヘルパー養成講習会の開催ができないか検討を進めている。

問 ホームヘルパーの育成講座を開催するなどをして、介護体制の強化をしては。町長 在宅福祉制度の中で、ホームヘルパーの果たす役割は非常に大きなものがあり、町独自のホームヘルパー養成講習会の開催ができないか検討を進めている。

問 地域の会館を利用したミニデイサービスを実施するなどし、痴呆性・寝たきり老人を少なくする予防医療対策が必要では。町長 新寝たきり老人ゼロ作戦事業を行い、ホリデイサービス、地域の公共施設

を利用したサテライトサービスなどの新しい事業にも11年度から取り組むよう計画している。

徹底を 介護用品補助制度の周知

問 介護用品購入時の補助制度の内容や指定店がわからないとの声があるが今後の対応は。町長 老人日常生活用具給付事業として、特殊寝台、車いす、移動用リフトなどの給付制度がある。

再質問 介護用品取扱店の育成も大切では。町長 在宅介護支援センターの中で福祉用具を展示するなど対応をしたい。

福祉水準を維持・発展させる福祉制度を 現在無料で貸与されている福祉用具も利用者負担となるが、別枠で福祉制度として継続すべきでは。町長 町独自のサービスにおいても利用者負担の均衡を図るうえからも、なにがしの御負担を頂かなければ

と考えている。

再質問 生活保護費の受給額を下回って生活している年金受給者も多く、負担軽減を検討すべきでは。町長 介護保険計画あるいは老人福祉計画の中で十分精査しながら要介護認定者と、そうでない方々との均衡のある福祉施策の推進を図って参りたい。

医療廃棄物処理施設のダイオキシン対策を 医療廃棄物処理施設の焼却物の現状とダイオキシン対策について伺いたい。町長 ダイオキシンの測定は12ナノグラムで国の基準80ナノグラムを下回っている。焼却物の主なものは手術用の手袋、包帯、ガーゼ、メス、試験管、注射針などの焼却しており、信頼関係を保つよう要望したい。

再質問 現状では安全基準が示されていない。国も将来0.1ナノグラムにするとしており抑制策を相手方とも話し合う必要があるのでは。町長 国も基準の見直しを検討しており、国の基準が変われば国の基準に対応できる施設の運営をして頂くよう町としても対応したい。

子育て支援を 若者の定住化対策としても、子育てに児童手当の支援を検討すると答弁していたが対応は。町長 町独自の児童手当については有効な少子化対策の一つと認識しており、引き続き検討したい。

再質問 本町に町長が定住化対策として必要であると考えるのであれば、いつまでに実施するのか明確に。町長 総合計画の中で定住化対策ということを基本的に検討したい。



米沢議員

日米防衛協力による自治体の義務は 給水、病院への患者受入れなどの協力義務があるのでは。町長 内容は審議中であり、支援協力できるものは協力したい。

町長 国も基準の見直しを検討しており、国の基準が変われば国の基準に対応できる施設の運営をして頂くよう町としても対応したい。

Q、行政改革及び機構改革について

A、効率的な行政運営を図る。



機構改革により効率的な行政運営を

行政改革及び機構改革について

問 課を減らしてとれだけの経費節減になるのか。

町長 私としては行政改革の主な課題は、簡素で効率的な運営を図る組織づくりということを基本的に、大課制をもって対応していく。今、係員を課付けにすることによって横断的な課内の作業に対応し、固定事務事業だけを処理することではなく、課内の業務を横断的に対応し、これからの地方分権あるいは福祉行政等々の対応をして参りたいと思っている。

再質問 現在残業手当について、どのようになっているか。

総務課長 平成10年度の予算額では、5千638万円の計上。その中で選挙に関するものが308万円。これを除く5千300万円に対して、そのうちの88%を総枠として各課に割当てをし、時間外手当の抑制を図っている。今

回は除排雪の関係で伸びているところである。

除排雪体制について

問 本年は非常に雪が多く大変だと思うが、役場内の組織が複雑である。例えば住民が町民課にお願いして、民生委員にいき、又町民課に戻って、そして社会福祉協議会にいき高齢者事業団にお願いするという様になっている。この件についてどう思うか。

町長 基本的に民有地については各自で除排雪をお願いしているが、除排雪弱者が非常に多く、又お年寄り等の家庭等の対応は、民生委員に調整をお願いし、社会福祉協議会の中で対応している。

今後機構改革の中で対応し、たらい回しにならないよう案内窓口的なものを設置したいと思っている。

一般廃棄物について

問 一般廃棄物についてだが1市3町1村で、1市町村は1施設ということで対



仲島議員



4月から稼働している破砕施設

応を進めていくことになっており、上富の場合は破砕処理ということになっていくが、我町では到底処理が出来ないと思われるがどうか。

町長 我町においては、大型破砕機の設置をしたことから、広域の粗大ゴミを我町での対応をすることになっているが現施設の能力の範囲では対応能力的に難しいと思われるので、各自治体において粗大ゴミ等の減量化策を広域的に話し合っていかなければならないと思っている。

議会傍聴 あれこれ

わ た し も ひ と 言 ……

立会演説会

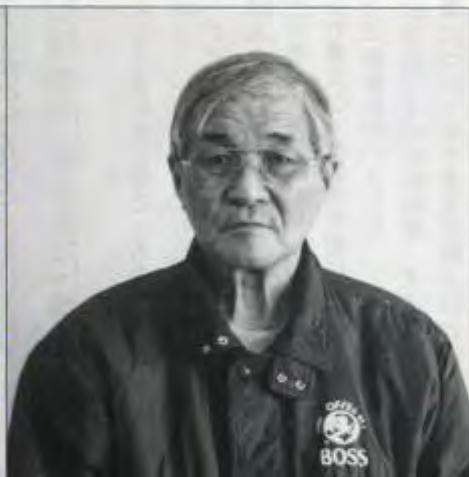
の 実 施 を !

執行機関をチェックするのが議員であり、その議員を監査するのが町民である。

毎度いわれられていて実施しないのが立会演説会である。

これを実施することにより町の代表者にふさわしい人を見極めるのに最高であり、新人も旧人も負けない論戦を期待したい。

多数の意見をきき、町の代表者として恥ずかしくない人を選びたいと考えている。



錦町

松原

長吉
さん

開かれた議会へ!

戦争で敗戦した国民は新憲法を定め、主権は国民である精神は忘れてはならない。

平和な日本と上富良野町を守るためにも開かれたより良き議会であってほしいと願い、議会を傍聴しての感想といたします。

1、冷え込んだ景気と消費生活をどのように立て直すか具体的に議論する。

2、安心して暮らすことのできる社会福祉と教育を具体的にどう進めるか。

3、永い尊い歴史ある上富良野の農業はコメ輸入自由化で町の進める農業にどのように影響するか。

4、介護保険制度が始まるが、行政はどのように対応するか提案し、町民がだれでもわかる広報を。

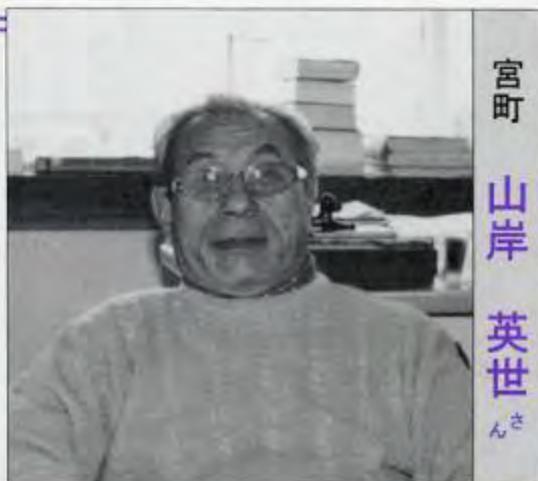
5、新ガイドラインは町民にメリット、デメリットがあるか。

6、1から5までは時間をかけて具体的に議論し、きちんと町議会決議とし、広報または、パンフレット等で町民に分かりやすく知らせる義務がある。また、町の決議を国会に要請要望書とし、提出するくらいの熱意があってほしいものだと思う。

議会の傍聴

お待ちしております

あなたも議会を傍聴してみませんか。
みなさんが選んだ代表が議場でどんな発言をし、町理事者はどんな政策を進めようとしているのか、ご自分の目と耳で確かめてみてはいかがですか。



宮町

山岸

英世
さん

議会の“窓”

功績を讃えて

3名の議員が各々の団体から
表彰されました



小野三郎議員

小野三郎議員は全道町村議連会より、創立50周年記念式典で、当会の評議員として平成5年より2年間、努められた功績により表彰を受けました。



米沢義英議員



松田勝利議員

松田勝利議員、米沢義英議員は全国町村議連会から、それぞれ議員活動15年以上の功績により表彰を受けました。両議員については昭和58年に初当選し、現在4期目です。

ゴミは広域処理の方向に

沿線専門研修会に参加

富良野沿線議長会主催による専門議員研修会が2月22日に本町の社会教育総合センターで開催されました。
今回は富良野沿線5市町村の総務・教育・民生所管常任委員が参集して、「ダイオキシン対策及びゴミ処理問題について」をテーマに研修を行いました。
研修会ではゴミの広域処理、ダイオキシン対策についてなど意見交換が行われました。



約50名が参加した専門議員研修会

編

集

後

記

年が明けてからは連日降雪が続き、歩道、車道の交通、路肩の見通しの悪さなど町民の皆さんも大変でありましたように、町としても除排雪には2回の補正予算を組んで対応してきました。町立病院では今年の11月をめどに療養型病床群を導入する予定であり、これにより保健、福祉、医療の一体化が図られ住民福祉の向上につながることを期待しているところです。

例年ですと3月議会終了近くになると雪がどンドン溶けていくのですが、今年はいまだに寒気は去る気配もなく、農家では気ぜわしく毎日がおちつかず、一日も早い土のかおりをまちわびています。

また長引く経済の不況が個々はもとより行政にも及んでいます。早期の景気回復を願っているところです。

(石川 記)

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 西村 昭教 |
| 副委員長 | 石川 洋次 |
| 委員 | 佐藤 政幸 |
| 梨澤 節三 | |
| 吉武 敏彦 | |
| 小野 忠 | |

議会の傍聴は自由です！ 当日、受付で名前などを書くだけです。

この広報紙の色は町花ラベンダーをイメージしたものです。